なかさと

毎月一回 15日
定価 1部 5円
発行所
中里村公民舘
現在人口 男 4,170
女 4,272
計 8,442
世帯数 1,714

―九月定例村議会―

教育委員、固定資産評価委員を選任

一般会計補正予算千二百万円

第三回定例村議会に、去る九月二十九日午前九時より、役場議場で開催され、会期一日の日程で教育委員、固定資産評価審査委員の選任、昭和四十一年度一般会計、簡易水道特別会計、農業共済特別会計の各補正予算のほか、条例一件、請願および陳情七件などを慎重審議し午後五時過ぎ散会した。付議された主な事件は次のとおりである。

【写真は九月定例村議会】

◇人事関係

教育委員の選任については、鈴木謙吉氏（下山）の任期満了にともなうもの、固定資産評価審査委員については、村山正也氏（宮中）の任期満了にともなうもので、教育委員には滝沢謙治氏（重地）を、固定資産評価審査委員には、中島孟平氏（堀ノ内）をそれぞれ選任することについては村議会の同意が求められ、多数の賛意をもって決定した。

◇補正予算関係

一般会計については、今年度第四回目で、才入才出合計千二百七十一万五千円の追加であるが、主なるものは次のとおり。▽才入においては、村税百三十万円、地方交付税六百九十三万三千円、国庫支出金二百六十万一千円、県支出金五十万九千円、村債百十万円などである。▽才出については、総務費百九十七万円（庁用乗用自動車一台百十七万八千円ほか、庁用備品類購入費）民生費十万三千円（庁用備品類他）保健衛生費三十二万円（簡易水道関係二十五万円ほか）農林水産業費四十四万九千円（農業振興関係二十八万四千円、地籍調査関係十一万円ほか）商工費十万円（駅構内観光案内工事費）土木費百十一万五千円（道路改良工事四十六万円、橋梁関係四十八万八千円）消防費五十七万五千円（非常備消防費三十一万四千円、災害対策費十九万円ほか）教育費三百八十三万三千円（教育総務費三十二万二千円、小学校管理費六十一万四千円、学校建設費二十一万一千円中学校管理費九十七万一千円、寄宿舎費百四十五万七千円、公民舘改装工事費十二万六千円ほか）災害復旧費三百七十五万一千円（農業施設災害復旧費八十七万四千円、道路橋梁災害復旧関係二百六十九万七千円ほか）公債費五十万円（一時借入金利子）▽簡易水道特別会計は、十二万九千円の追加であるが、主なものは、田沢駅関係水道敷設工事費である。▽農業共済特別会計は、七万六千円の追加であるが、昭和三十八年より四十年まで三ヵ年の水稲及び蚕繭無事戻金で、該当者は、水稲三百十一名、蚕繭二百六十二名となっている。以上各補正予算とも、原案通り審議決定した。

◇請願、陳情

▽郵便日曜配達廃止について（請願者、全逓信労働組合十日町支部、越後田沢分会代表小巻沢吉久）社会厚生委員会付託

▽東田尻きのこ栽培事業について（請願者、東田尻きのこ栽培加工企業組合長山田太一郎）産業経済委員会付託

▽清津峡小体育舘ステージについて（請願者清津峡小学校地区代表、樋口完策）採択

△角間部落電話架設について（請願者角間部落代表、鈴木博）総務文教委員会付託

▽倉下部落簡易水道新設について（請願者、関沢寛平外）採択

▽養魚組合販売輸送用の施設について（請願者養魚組合長、富井寿美雄）産業経済委員会付託

▽田沢中学校放送施設更新について（請願者、田沢中学校PTA会長、樋口順之外）総務文教委員会付託

▽堀ノ内部落集会所建設について（請願者、堀ノ内区長、南雲民一）総務文教委員会付託

なお条例の制定については、「職員団体のための職員の行為の制限の特例に関する条例」であるがこれは地方公務員法の規定に基づき職員が給与を受けながら、職員団体のためその業務を行ない、又は活動することができる場合を定めたもので、原案通り議決された。

十二線 猿倉隧道完成

うっすらと紅葉しかけた清津の谷あいにコンクリート打ち込み作業から一年、また清津の山山、そして谷間がそろ〳〵黄色みがかった季節になったこの頃、総工費約六千三百万円が投じられ、倖沢から倉下迄における隧道、通称猿倉トンネルが完成した。加賀田組が請負、昭和三十九年以来約二年を要し、延長百六十五米、幅員五・五米のトンネルである。

なおその先の道路工事は倉下部落迄行く予定だが、今年度分は七百五十米、橋までは加賀田組で、その奥は富井組とに請負われ、竣工は来春三月。来年五百三十米を終えればあとは、いよいよ十二峠の山をブチ抜く工事に入る予定とのことだが、昭和四十四年度の完工をめざして工事は進められている。【写真は完成した猿倉トンネル】

郵便局からのおねがい

皆さんの中には郵便物が届かなかったり、中身がなくなったりした経験をおもちの方はありませんか？。

郵便局では皆さんの大切な郵便が、一通一通まちがいなく届くよう心をこめて取り扱っておりますが、たくさんの郵便物のなかには、無事に届かなかったというようなことがおきています。

万が一、届かなかったり、中身が足りなかったりした時は、ためらわずにお近くの郵便局へお申し出下さるようお願いします。郵政省では申告を受けますと、専門の監察官が、その郵便物の取り扱いに関係した郵便局について資料を集めくわしく事故原因を調査し、その結果を申告した方へ回答するとともに、事故犯罪の防止に役立てております。

皆さんの郵便をよくするために是非ご協力をお願いします。

待望の電話設置さる

地元民の長年にわたる電話設置の念願がこの程かない地元民は大変よろこんでいる。これで中里村に電話のない部落は新里だけになった。なお芋川新田は大島考興さん宅に電話番号は三〇二、牧畑は大島義邑さん宅に七九三〇、清津峡温泉の清津舘は一一一五、古屋旅舘は一一五五、苗場舘は一一五一である。

子どもたちは私共の生命

田沢小学校長 伊藤義男

「子どもたちは、私どもの生命です。」

私共職員十四名、調理員三名広田さんは、こんな気持で四百名の子どもたちと過しています。

〝コラーッ〟……逃げる子を追ったてつかまるものか。

が、あっちの方で頭をおさえてションボリしている三年生。

頭をなぜ、顔を両手ではさんでやる。そして眼をみる。

これで先生は子どもを許し、互に心がふれ合う。

こゝには、ことばなど必要ない。

可愛いいから憎しみも湧きます。

「廊下を静かに歩きましょう」と、いくら約束してもどんどん走って行く。

叱かれば、つま先で猫のように走る。

子供たちが走るのには、それぞれの理由がある。

早くグランドに行ってソフト・ボールの場をとりたい。お便所へ行きたい。じしっとしているのがいやになった。水を呑みたい……ためなのです。

幸い一年と二年の教室に水道が入った。これで走る原因が一つ除かれたことになったわけです。

〝散らかすな〟という前に、至る所にゴミ箱を設置することだ。お便所が何時もよごれるので、よく調べたら、ふみ石がきたなかったらしいので、上らないではせる子供がいるからだった。だからと言って、そのまゝでは教育にならない。

私たちは、子どもたちを愛するが故に叱ることに臆病であってはならないと思う。（感情的でなく……敢えて〝叱る〟という語を用いたが）

一人一人の子どもの将来に大きな夢を託し、ひたむきにこの道を歩む私どもと子どもたちとの間に、かけひきなどあってはならない。昨日、叱った子は今日「お早う」をし、鼻をこすりつけてきた。

一年生のなんと純なことか。この時こそ、私どもはしみじみと生甲斐を感ずる。

ここに教育が存在する。個性を見つめ、のびのびと伸ばしてやること、やってはいけない行為に対して厳しい態度が家庭全体の中に、職員全員の中に一貫していなくてはならない。

今日もピチピチした子どもたちです。

「子どもと共に我らあり」私どもの教務室は、心のよりどころだ。

「今日も一日、あたゝめ合い、励まし合う場でありたい。」とただ念ずる。

10月11日～20日まで
秋の全国一齊交通安全運動

田沢駐在所 吉越部長

十月十一日より二十日までの十日間、秋の全国一斉交通安全運動です。

（一）交通事故の防止はみんなの注意で。

交通事故が多発し、このままでは一昨年の昭和三十九年の死者一万二千人を突破しそうです。県下は昨年同期より四十五人も多い二百三十五人の死者をこえています。中里村内は今年に入って事故十三件、十一名の怪我人が出ている。みんなの注意で防止することが必ずできる。

▽その後の交通事故

①九月二十五日午後四時三十分頃、荒屋地内で軽自動車に五才の坊やが、はねられ十日間の怪我。原因は坊やの飛び出しと運の前方不注意。

②十月二日午後一時三十分頃、本村の、のげの坂で貨物自動車が、電柱に衝突し折損した。原因は、スピードの出しすぎ。

（二）青少年の不良化防止に愛の手を。

これまで、数回この記事をのせました。中里村に関係ないと思われた人が多かったことでしょう。この前も、某旅舘で十六七才の集団グループが酒盛りしたことで補導事例あり。酒、煙草ぐらいという方が多いのではありませんか。これが不良化する原因です。注意して下さい。子供をもつお父さん、お母さんの真の愛情は、子供の言うまゝにすき勝手にすることではなく、子供の日常に深い関心をもつことだと思います。

みんな揃って納期内納入を

県税自動車税第二期分納期限は十月三十一日です。納付（納入）場所は、もよりの銀行、郵便局、又は財務事務所窓口。移転、廃車の手続きは、早急に。下取りに出す車、使用不能等で廃車する車は、早急に手続き（移動抹消登録）を行なって下さい。移転、廃車等に対する自動車税は月割課税となりますので、手続きが遅れますと納税者（所有者）が不利益を受けます。（登録手続先＝新潟市出来島字山ノ下、新潟陸運事務所）

十日町財務所

保健関係
―おしらせ―

一、第九回母親学級（新婚者及婚約をしているもの）

▽十月二十日 家族計画～妊娠分娩の生理

▽十月二十一日 栄養、衣類、沐浴（実技）保育

▽講師 上村病院長外保健婦。

▽会場 中里村役場第二委員会室。時間は二日間とも午前九時半～午後四時迄なお二日間受講の場合は中里村長の修了証書が出ます。

二、妊婦検診 十月二十五日、二十七日、午後一時～三時（二日とも）母子手帳のない方は検診場で発行します。会場は上村病院待合室。（受付）

三、栄養教室 第十日目 十月二十四日午前九時～十二時、調理実習、田沢中学校調理室。午後一時～四時家庭管理、役場議場。

人生往来

◎産声

子の名	父の名	部落名
富井 明美	王市	如来寺
上村 正朗	英和	上山
山田千代子	範茂	土倉
高橋久美子	春彦	程島
太田 寿二	富一	田沢
大島文美子	文二	芋川新田
滝沢 聡子	照夫	重地
大口 明宏	治行	重地
山田 訓	順一	宮中
村山富美子	正春	〃

（新郎 石沢 光久（三〇）津南町
新婦 滝沢 シマ（三七）田中）

（新郎 樋口 武（三四）東京都
新婦 井ノ川美津栄（三三）田中）

（新郎 滝沢 光雄（三九）静岡
新婦 富井カズイ（三二）如来寺）

（新郎 山本 清夫（三八）上山
新婦 田村 圭子（三四）小原）

◎昇天

氏名	年令	部落
富井キクイ	（四三）	山崎
村山 武七	（七九）	田沢
南雲 サダ	（六九）	芋川
南雲 藤吉	（七五）	堀ノ内

なかさと文芸
―十月投句―

キミ

稲刈機使い始めの肩いたむ
秋静かドラマに涙す子に見らる

海人

入れ物は無けれど嬉し茸狩り
稲刈りや嫁と娘の腕競う

キクノ

びしょぬれて稲重し坂長し
名月や少女の頃の唄しのびつ

由記

手のあれも収穫の美と讃え見る
小百姓それなりに悔む刈取期

捨蔵

はてしなく路傍に続く野菊の花
稲架かけや妻の手借りて日の暮るる

時習

白菊や暮色静かに昏るる窓
かけ稲のさわさわかわく秋の風

一枝

刈り上げのはぎに嬉び含みおり
秋深し稲刈る母の手荒れて

えつお

稲かけて藁の家囲み城となす
真向いも幸の声あり秋桜

露丘

稲架褄立てゝ妻有と云う盆地
奥信濃播き時き蕎麦も花ざかり

ミチ

灯もつかず刈り時の庭寂しけり
片頬に栗の一つや鎌を研ぐ

涼子

茹栗を明日退院の手にもたす
ぶどう葉をうかべて鯉の秋姿

正

秋刀魚焼く匂いに背の荷ずっしりと
妻の里祭太鼓に鎌を研ぐ

おの江

りんどうの花につゝまれ葬儀行く
病葉がおしや寒風ひらと落ち

大泉

遠足らし枯野を遠く歌聞こゆ
花に来て花よりも白き秋の蝶

閑央

気負い立つ蜂に臆なしの秋の雨
銀翼を秋陽斜めに苗場越す

今年の作況について

雪消えは平年並みであったが、苗代期間中に低温が続き、苗の伸びが悪く平年より一週間も田植えが遅れ、しかも一部には苗不足も見られその後六月中旬に入って低温に見舞われたがその後順調に推移し、七月下旬は気温が高めで、天候は順調であったが、六月第一半旬の低温により各地域とも生育のおくれがかなり顕著に現われた、出穂期は平年に比べ、県平均で約四日程おくれ、草丈は依然としてやゝ低め、穂数は並みからやゝ多めであった。

八月頃からは徐々に回復して来た天侯は十月頃から高温となり、日較差も大きめに経過し、八月末までの出穂状況から、有効茎歩合は全般的にやゝ高めである。しかし、穂ぞろいはあまり良くなく、また平均一穂当り全粒数は有効茎歩合の高まりにより着数の少ない小さめの穂が含まれる結果、平年より一般に少なめとみられる。なお、八月第一半旬の低温は、平野部においても最低気温十七度Cの日が三日も続き、高冷地では十度Cまで低下した日があり、この低温による粒数の減少が一部地帯に見られた。また一方病虫害の発生については、いもち病は七月中旬頃から各地域の山間、山添い地帯や平坦地の遅植、多肥地帯を中心にかなりまんえんした。とくに山間部の遅植地帯では局部内にずり込み状態もみられている。しかし全般的には発生は平年より少なめであった。しかし七月に入って高温の日が続いたので山間地や、山添い地帯の晩生種にセジロウンカの大発生が見られたが防除の徹底が期され、一部には収穫皆無の水田も見られたが、全般的にはまずまずの防除が出来ました。また一方イモチ病については山間旧山添地帯のイモチ常発地である、高道山と芋沢等で発生が多く見られたが、全般的には平年より少なめの発生状況であった。しかし今後毎年のようにウンカの発生が見られるならば山添地帯には晩生種の品種を避けて作付計画を立てるべきであると思います。尚本年の被害状況を災害種別に記入して見ると次のようになります。

イモチ病	三〇・三％
干害	二・六％
冷害	〇・八％
水害	〇・一％
ウンカ	一〇・一％

国民年金改正さる

国民年金法の一部が改正されましたが、今回の改生は拠出年金に係る給付水準の大巾引上げをはじめ制度全般にわたる画期的な改善を実現したものであります。内容はつぎのとおりです。

▽年金額の引上げ

年金額は昭和四十二年一月分から大巾に引き上げられることとなり、その算定方法等が次のとおり改められました

①老令年金等の額

老令年金及び通産老令年金の額は、保険料納付済期間については従来二十年までの一年につき九百円、二十年をこえる一年につき千二百円をもって計算するものとされていたのだが、一律一月二百円（年額二千四百円）をもって計算するものと改められ、保険料免除期間については、従来一年につき三百五十円をもって計算されていたが、一律一月二百円の三分の一（年額八百円）をもって計算すると改められたこと。

▽保険料納付済期間

◎二十五年の場合　六万円

◎四十年の場合　九万六千円

②障害年金の最低保障額

障害年金の最低保障額については、二万五千円（月額二千円）が六万円（月額五千円）に、また一級障害の加算額について六千円が一万二千円に引上げられた。

③母子年金の額

母子年金及び準母子年金の額については、最低一万九千二百円（月額千六百円）とするものとされていたが、この額が一律五万五千二百円年額（四千六百円）と改められた。なお加算の対象となる子等一人につき四千八百円。

④遺児年金の額

遺児年金の最低保障額について一万二千円（月額千円）が三万円（月額二千五百円）にそれぞれ引上げられた。

⑤既裁定年金の額

昭和四十二年一月一日前に拠出年金の受給権を取得し、同日まで引き続き受給権を有する者についても昭和四十二年一月分から改正後の計算方法による年金額が支給されることになった

▽加入について

明治四十四年四月二日から、昭和五年四月一日までに生れた人は昭和四十年四月から納入しませんと老令年金受給資格を得られませんので念のため申し添いておきます。（以下次号）

輸血々液の供給方法について

近年輸血々液の不足については新聞、テレビ等で報道のとおりですが、特に新潟県においては従来関東方面等の常習売血者の血液により約七割を賄われておりましたが、この血液が黄色い血液と言われ血清肝炎のもとになっており、業者の自主規制によりこれが大巾に減じた現在県下の血液事情は急速に悪化され、県民の輸血々液は県民の健康の血でと言うことが呼ばれており、日赤では献血をみなさまに呼びかけ協力を求めておりますが、この献血された血液はどのようにして供給されるか述べることにいたします。

①みなさまから献血された血液は四度～六度の温度で保有し、四日間のうちに梅毒検査、血液型判定など各種の検査を行います。

②検査をされた血液は、新潟県保存血液管理センター供給事務代理店において管理されております。

③みなさま方が献血された時は献血手帳をお渡しいたしますが（当村では役場に一括保管）もし手術等で、輸血々液が必要な場合この献血手帳を病院に提示（血液型は問わず必要量の手帳を提示する）しますと病院では新潟県保存血液管理センター特約店に手帳を示し献血による血液（売血ではなく皆さんの健康な血液）の供給を受けみなさまに輸血されます。

④献血による健康な血液の供給は原則として献血手帳と引換えに行うことになっており、従って特約店は献血による血液を供給する時は供給血液に見合う献血手帳を受けることになっております。

⑤皆様方が緊急傷病等により献血手帳なしに献血による血液を要望する場合、皆様方の家族、親類、知人により、できるだけ返血々液をして頂くため、役場衛生係にご連絡下さい。衛生係では、皆様がわざわざ遠方まで行かなくとも献血されるべく「ゆうあい号」配車の時、皆様にご連絡申し上げます。

赤い羽根共同募金について

本年も県下のトップを切って十月一日新潟県共同募金会に委託出来ましたことは、一重に皆様方のご理解によるものと深く感謝申し上げます。赤い羽根共同募金運動は国民のたすけあい精神の立場から、お気の毒な人びとを援助し、社会福祉施設をよくし、又地域の福祉活動を増進するのが本旨であります。

当村に於いては一般共同募金は、前般申し上げた通り、完納したのですが、当村ではこれから、赤い羽根着用運動を通し、主旨の徹底と自分達もその運動に参加しているという自負心をもってもらうため、全生徒、児童保育所幼児に、赤い羽根を着用して頂いています。一般の方には無人街頭募金（田代屋前、田沢駅、清津峡入口に設置）を実施していますので、みんなが赤い羽根を着用してその主旨をご理解頂きたいと思います。また、本年より法人募金を行ない村内各法人会社より赤い羽根共同募金の主旨をご理解頂き多額の募金を納入して頂いています。さらに一層の社会福祉事業の進展のためご協力お願いします。

タバコは地元で買いましょう

出稼ぎや旅行などの場合は、ぜひ自分の村から、タバコを買って行きましょう。

自分の村のタバコ屋さんから買うことによって、二十本入のタバコ一個につき

村へ　八円八十銭

新潟県へ　五円二十八銭

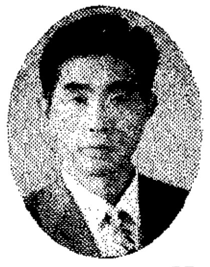
のタバコ消費税が入ることになります。

◎中里村青少年問題協議会募集入選標語◎

われ先に笑顔で集まる家庭の日

敬老の日に思う

教育委員長　藤田五郎



本年から九月十五日の老人の日が敬老の日として新たに国民の祝日になった。この祝日を設けた趣旨は、御承知の通り多年にわたって社会につくしてきたお年寄りを敬愛し、長寿を祝い、又広く国民がお年寄りの福祉についての関心と理解を深め、お年寄りが自らの生活の向上につとめる意慾を高めるためである。吾が中里村では、既に本年の敬老会が終っているので特別の行事の計画はなかったが、この日は全国各地で、多彩な敬老行事が開催された。東京では厚生大臣と、都知事の主催で、日比谷公会堂に、皇太子さま御夫妻をお迎えして、敬老の日制定記念式典が開かれ、記念品贈呈、都の敬老金、敬老バッチ贈呈等があり、お年寄り代表者が記念品と、花束を佐藤総理大臣から頂き、総理大臣と握手をして満場の拍手をあびた新聞記事を読んで感慨無量のものがあった。本県でも当日亘知事が県下最高年令百八才の島田ハルノさんを訪問して、数々の記念品を贈りお祝いの言葉を述べたと伝えられた。然るに一万同じこの日に生きる張り合いがないと云って、相次いで各地でお年寄りの自殺があった悲しい記事にも目を奪われ世の中の明暗に、そぞろもの悲しさも味わった。老人福祉週間が始まってから、本年で四回目であり、老人の日が敬老の日になったので老人福祉週間もこの日から一週間である。この敬老の日も福祉週間も、この日と、この期間だけ老人を大切にせよというのではなく、常に敬老の念をもたせるため、国民に共感を求める運動である。自分の親があって、自分という子があり、自分があるからこそ、自分の子があるというこの肉親の情の道理がわかればこんな祝日も週間も必要がないわけである。ところがそうはいかないほど日本の精神文明も社会環境も変ってきたのであろうかと思うと一寸寂しい。現在日本には有料無料の老人ホームに入っているお年寄りか、六万人もいるそうであり、希望しているが入れない人が九十万人もいると聞いては全く慄然たらざるを得ない。無料の方は、勿論貧困者であろうが、有料の方は子供の家族と同居をあきらめた人達と見るべきである。住宅の問題、不仲等もあろうと思われるが、育てて貰えばそれまでョ、育ててしまえばそれまでョ、の親では何とも人の道を説けない味気ない親子関係である。年老いて子供が家庭経済の中心となり、親は孫のもりでもして家庭を守る、孫の手を引いて日なたを散歩するお年寄り、雨の降る日は家の中でマンガでも読んできかせるお年寄り、思うだけでも楽しそうな生活環境ではあるまいか。吾中里村のように純真な親子やお年寄りの集りには、新聞やテレビに出るような無情な親子、お年寄り関係を見聞しないことは、土地柄とは云い乍ら有難いことである。親子の別居生活云々、又は去るものは日々にうとし、などと現代の親子関係を軽く論するのは如何に御時世とは云い乍ら苦々しい。今日の家庭経済が親の面倒を見る余裕がないからではないかという人もあるが、それは一応の理屈であっても、親子愛の機微にふれていないように思われてならない。

親というものはどんな苦労に堪えても、可愛い、自分の子供と一緒に居たいと思うのが情であり、子供も自分達を育てゝくれた親に孝養をつくしながら、親と一緒に居たいと思うのが、日本古来の美しい伝統であり、憲法や世相に拘泥しないところの所謂父祖の足跡というものであろうかと思われる。今は国家から、年金も逐次増給される世の中であるが、戦後の家族制度撤廃や、社会環境の変転に重大なる関心と疑問をもちつつも、子供達のいたわりの言葉に、この上なき人生の楽しみを味いつつ老後を楽しんでいるのが大多数のお年寄りの現況であろうと思いたい。お年寄りをいたわる気持はありながら、世の常として、言葉に出すことを忘れているのではなかろうか。お父さん長生きして下さいょ。お母さん長生きして下さいよ、という短い言葉がどんなに親達にとっては嬉しいことであるかを考えて見るべきであろう。お年寄りは家庭を離れては、心のよりどころがなく、孤独に耐え切れない存在なのである。お年寄りというものは、寂しがり屋なのである。家の中の人達の何気ない一言でも、妙に胸に突きささったり、まわりから厄介者に思われてはおらぬか、などと気にしがちのものである。特に病気でもしている時には尚更のことである。気がねと孤独をときほぐして、生きる勇気を与えてくれるのは、周囲の人々、特に子供達のそして孫達の温かい言葉にちがいない。寒くありませんか、風を引かぬようにして下さい、といってかけてくれる一枚の毛布にこもる愛情は、親にとって涙の出るほど嬉しいことにちがいない。さりとて親孝行のおし売りをするつもりは毛頭ないし、又おし売りすべきではないが、親不孝者が社会で成功したゝめしがない点から見ても、親を大切に出来ぬ人は一人前の人間としての資格に欠けているのではないかとさえ思われる。俗にいう孝行をしたいところには親はなし、と言う言葉は常にきく言葉であるが意味深長なものがひそんでいる。

一方お年寄りも現代の世相の変転と、若い人達のおかれている立場をよく理解し、付度して物分りのよい新しい時代に即応したよきお年寄り振りを発揮して頂きたい。さて敬老の日は単に自分の身よりのみの敬老の日ではないことは、前にも述べた通りではあるが、世の中の総てのお年寄りにささげる感謝の日である。私は毎年村内の敬老会には都合のつく限り出席して敬老の念を新たにしているが、お年寄りの方々の楽しそうな、幸福そうな様子に接して心温まるものがある。現在は生活環境に恵まれている関係で、年の割合に皆若々しい。その若々しい乍らも、顔のしわの中に人生の労苦が尊く刻み込まれていることを、その都度感謝の念をもって感銘するのである。今年の九月十五日の敬老の日に私は、田沢小中学校の合同運動会に出席して屋外運動場の周囲を歩きまわったところ、あちこちにお年寄りが孫達の、そして親は子の運動ぶりを「ジッ」と見つめている楽しそうな瞳に、平和なそして麗しい雰囲気を感じ、吾が中里村の敬老の日も亦よきかなと明るい気持で十時三十九分発の急行バスで、新潟市で行なわれる業界の役員会に出席のためその途についた。途中一寸気になったことは、第一回の敬老の日であるので、不徹底のためか各地共家々の国旗の数が、非常に少なかったことである。来年のこの日はどこの家にも国旗がへんぽんとひるがえるであろうことを期待しつつお年寄りの方々の御健康と御多幸を祈った。

中里村青年会　十月の行事予定

中里村青年会では、毎月二回位づつ行事をやっているが、十月の行事予定は、左記の通りです。みんなで参加し、みんなで聞いて、みんなでたのしくやろう。

記

▽十月十八日　話しを聞く会

テーマ　結婚と青年の気持

講師　県教育庁社会教育主事　粕川正乃

▽十月三十日　紅葉狩り

白根山及び志賀高原

バス日帰り、経費五百円位

募集人数　六十名

十月一ぱい　里親および職親を求める運動に御協力を

この運動は里親および保護受託者（職種）制度の発展を図るために行なうものです。

里親とは十八才未満の保護者のない児童とか保護者と生活することが不適当な児童を知事の委託を受けて一時的または継続的に自分の家庭に預かって養育す